

# 能代の 民俗芸能と 民俗行事

現在、18の団体が連合会に加盟し、次の民俗芸能と民俗行事が伝承されています。主にお盆の時期に各地の神社などで披露されています。

- 檜山舞
- 常州下御供佐々
- 切石作々楽踊
- 羽立大神楽
- 仁鮒ささら踊
- 富根報徳番楽
- 常州下獅子踊
- 荷上場盆踊
- 種番楽
- 梅内駒踊
- 小掛ささら踊
- 田代盆踊
- 駒形獅子踊
- 駒形獅子踊
- 鶴形ささら
- 鳥形獅子踊り
- 羽立ささら
- 浅内ナゴメハギ



## 竹生小時代からの伝統

向能代小の学区内で郷土芸能の活動をしているのは、唯一鳥形地区だけだそうです

奴踊りと獅子舞で構成され、毎年8月に鳥形熊野神社や八峰町の長泉寺などで奉納の舞が行われます。奴踊りは竹生小の名物として有名で、統合した向能代小でもクラブ活動の一つに「鳥形やっこ踊りクラブ」として加わり伝統が受け継がれています。



# 鳥形獅子踊り

竹生小1年生の時から練習しています。統合後は「きつね踊り」「赤坂」「白刃」「綾三拍子」「手踊り」の5演目を保存会の方から教わっています。鈴のついた紅白の綾棒や木の棒を使って踊ります。



6年 金谷颯希さん

楽しそうなのでやってみたいと思い、今年からクラブに入りました。今年のメンバーは4～6年生の20人です。6月から週2・3回練習して、11月の学習発表会で練習の成果を発表しました。



6年 桐越大虎さん



6年 對馬奏羽さん

竹生小の時から奴踊りを練習してきたので、統合した後もクラブ活動として選択し太鼓のたたき手として練習を頑張っています。太鼓はリズムを取るのが難しいですがとても楽しいです。



5年 庄内一花さん

統合した昨年、竹生のみんなの奴踊りを見て興味をもちました。特徴のある振り付けの一つが扇を前に出す最後の決めポーズ。奴踊りを見る時はぜひ注目してほしいです。